



# 第3回 元住吉ミュージックフェスティバル

in 川崎市 国際交流センターホール

2024年 4月6日(土) 11:00~20:00

入場無料

最寄駅: 東急東横線・東急目黒線  
「元住吉駅」西口徒歩10分  
Add: 川崎市中原区木月紙園町 2-2  
TEL: 044-435-7000

ジャズ、クラシック、ロック、アコースティック etc.  
たくさんのアーティストの集いで  
一日中、生の演奏を楽しんで貰う音楽祭です。

## 11月11日(土)より 出演者募集

プロ・アマ・国籍問わず  
応募締切: 2023年12月末日

会場運営のボランティアスタッフも募集

詳しくはwebをご覧ください  
https://ontomo.jp/

主催: 音楽好きな友の会/MMF実行委員会  
共催: Motton Club  
後援: 「音楽のまち・かわさき」推進協議会/(公財)川崎市国際交流協会/(公財)かわさき市民活動センター(公財)現代人形劇センター/かわさきFM(79.1MHz)/人形劇回ひとみ座  
協力: モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合/モトスミ・オズ通り商店街振興組合/井田中ノ町商栄会 武蔵新城・日光通商店街振興組合 木月一丁目町会/木月二丁目町会/木月三丁目町会/木月四丁目町会 井田共和会第2町会/井田共和会第3町会/井田共和会第4町会 ウチダインテリアデザイン/島倉 学ミュージックスクール/ソウリーヴ・ミュージック・スクール (敬称略・順不同)

お問い合わせ: info@ontomo.jp

A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music

Mマガジン  
2023年12月16日号  
2023年11月16日発行  
(毎月16日発行)  
第106号  
発行・編集人: 塚田親一  
編集: 藤田順治/大場明弘  
佐伯奈々重  
発行: 音楽好きな友の会  
川崎市中原区木月2-21-32  
TEL 090-9398-2889  
2023-11-16-800 Printing IT




元住吉の気軽な音楽会  
Music Enjoy Club  
音楽好きな友の会  
http://ontomo.jp/

2023 12 December

### 音友レコード倶楽部

レコードコンサートのプログラムは  
Light music & Jazz Date合同開催

●2023年12月2日(土)プログラム  
「持参レコード/CDを楽しむ集い」  
多くの方々の音源持ち寄りの「クリスマス特集」  
♪ クリスマスの曲を中心に楽しもう! ♪

- 川崎市生涯学習プラザ101活動室
- 13:15開場/13:30開演
- 参加費: ¥1,500

山崎 綾子: ピアニスト  
東京音楽大学大学院科目等履修生2年在学中。ソルフェージュを太田彌生、ピアノを田中由生子、野中正、小林由佳の各氏に師事。V.リヤードフ、M.カンディンスキー、小川典子、M.クルティシエフの各氏のレッスン受講。第78回東京国際芸術協会新人演奏会オーディション合格及び審査員賞。トバイアス・マテイ記念ピアノコンクール第1位。The 5th International Moscow Music Competition 1st prize. 中学校・高等学校教諭一種免許状(教科:音楽)取得。

Photo: Yoshio Yasuda

### 連載51

## そして音楽の旅は続く 世界中の点と点で クリスマスソングを聴きたい!

CHRISTMAS PORTRAIT / Carpenters

嬉しな~MERRY CHRISTMAS! クリスマスがやってきますよ~! クリスマス好きな私は例年、クリスマスCDをあれこれと引っ張り出してクリスマス三昧です。これまでもNAT KING COLEの「THE CHRISTMAS SONG」は絶対に外せないとか、CARPENTERSのアルバム「CHRISTMAS COLLECTION」は必聴だとか独断で書いてきましたが、他にも私的な名盤があります。KENNY LOGGINS「DECEMBER」、BABYFACE「CHRISTMAS WISH」、山下達郎さんの「SEASON'S GREETING」も素晴らしい! ジャズの名盤に加え、他のジャンルも聴くのが私のお気に入りのスタイルです。素晴らしい音楽にジャンルの壁はナイ! と思っているので、あれやこれやと音楽の中を徘徊しています。今までジャンルを越えて聴き散らかしてきたので、時々「アッ!」と突然に点と点が結ばれていくことがあります。「ジャズとは全く接点がない!」と思っていた18才の頃に聴いた、忘れられない曲に30年後に再会したらCARMEN McRAEの「THE MAN I LOVE」だったり、20才頃かな? 大好きなKENNY RANKINが唄っていた「WHEN SUNNY GET'S BLUE」、この季節「LAST CHRISTMAS」で有名なWham!のGEORGE MICHAEL「WILD IS THE WIND」、QUINCY JONESの(私の若い頃のクインシーはジャズよりもMICHAEL JACKSON等のポップスの大アレシジャー、プロデューサーでした)秘蔵っ子と言われたPATTI AUSTINの「TRUE LOVE」「SMOKE GET'S IN YOUR EYES」。若い時には気付かなかったけれど、どれもこれも結び付いていることに驚きます。なんだか最近の私は垣根を越えて、ジャズの気分で好きな曲を唄っちゃうぞって、意欲満々! 10ccやSTING、夜霧よ今夜も有難うもレパートリーに入っております。さっとこれからも、たくさんの点と点が繋がっていくんだろうな。楽しみです。差し当たっての新しい「点」の体験は、年末の第九を、今年は初めてコンサートホールに聴きに行くことです。昨年まではTVで

ジャズボーカリスト 星乃けい  
official website  
https://www.hoshinokei.com

観ていたのですが、やはりLIVEでしょ! やっぱり生演奏が一番でしょ! とは言え、クラシック音楽は映画の中で使われているか、学校の授業で聴いた程度。音楽の成績は良くなかったし、第九も授業で唄わせられたけれど隣のパートとごちゃごちゃになってボカーンでした。有名な美味しいところ以外はウトウトしちゃうかも... その前日もガッツリとLIVEでジャズを唄うし...。寝ないように頑張ります。クラシックの「点」は、また何かの点とつながるのかな? 音楽が点と点で繋がって「お互いに素敵ね!」って分かり合えるように、人と人、国と国も仲良しになりたいですね。今年はホワイトクリスマスになるのかな? 真っ白の雪景色を見ると世界中が清められたみたいで嬉しいんだけどなあ。

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

### 音友レコード倶楽部PR動画!

「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

## 島倉 学ミュージックスクール

驚くほど歌い方が上達する「島倉 学メソッド」

歌が人生を変える 音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール  
開講11周年記念 ヴォーカルコース発表会  
第13回 Dream Live 2024 開催決定!  
2024年1月13日(土) 開場 14:00 開演 14:30 入場料 ¥2,000  
会場 川崎市国際交流センターホール 出演 スクール在校生/島倉 学  
【プログラム】  
第1部 Vocal Live  
第2部 Musical & Classic Concert  
第3部 島倉 学 Solo Concert 2024 ~歌革命~  
主宰: 島倉 学 主催: 島倉 学ミュージックスクール 後援: 島倉音楽事務所  
TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-musicschool.com  
HP: http://www.ms-musicschool.com/

### 音友レコード倶楽部PR動画!

「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

## 島倉 学ミュージックスクール

驚くほど歌い方が上達する「島倉 学メソッド」

歌が人生を変える 音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール  
開講11周年記念 ヴォーカルコース発表会  
第13回 Dream Live 2024 開催決定!  
2024年1月13日(土) 開場 14:00 開演 14:30 入場料 ¥2,000  
会場 川崎市国際交流センターホール 出演 スクール在校生/島倉 学  
【プログラム】  
第1部 Vocal Live  
第2部 Musical & Classic Concert  
第3部 島倉 学 Solo Concert 2024 ~歌革命~  
主宰: 島倉 学 主催: 島倉 学ミュージックスクール 後援: 島倉音楽事務所  
TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-musicschool.com  
HP: http://www.ms-musicschool.com/

### 川崎市国際交流センター

#### 2024年1月開催「後期語学講座」のお知らせ

中国語、韓国・朝鮮語、レベル別英会話、英語で学ぶイギリス音楽、おもてなし英語、英語でディスカッションなど全部で11講座。日程・曜日・回数・受講料などは講座によって異なります。

- 申込方法: HP申込みフォーム、往復はがき
- 締切: 11月30日(木)
- 【空席がある場合は、締切後も応募可】

お問い合わせ  
川崎市国際交流センター  
(公財)川崎市国際交流協会  
TEL 044-435-7000  
E-mail: kouryu55@kian.or.jp  
ホームページ https://www.kian.or.jp/  
川崎市中原区木月紙園町2-2  
元住吉駅から徒歩10分

詳しくは、HPをご確認ください。

### 川崎市生涯学習プラザ

#### 第131回 ランチタイム・ロビーコンサート

日時: 2023年12月5日(火曜日) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定

- 料金: 無料
- 場所: 川崎市生涯学習プラザ 3階302多目的ルーム
- 出演: 古渡智江先生と「楽らく歌の教室」の皆さん
- 内容: 古渡智江先生によるコンサートと、生涯学習プラザの歌の教室受講生による合唱です。クリスマス気分をお楽しみください。

お問い合わせ  
(公財)川崎市生涯学習財団  
総務室 総務係  
ロビーコンサート担当  
TEL 044-733-5560  
E-mail: concert@kpal.or.jp  
川崎市中原区今井南町28-41

●曲目予定  
・この街で  
・明日という日が  
・あわてんぼうのサンタクロース  
・サンタが町にやってくる  
・ホワイトクリスマス  
・喜びの歌  
・きよしこの夜  
・他

### 音楽好きな友の会(音友会)

#### 12月2日は「マル・ウォルドロンの命日」

偉大なジャズピアニストであるマル・ウォルドロンはアメリカニューヨーク市出身で1957年から1959年7月の間、ビルリー・ホリデイが世界するまで伴奏を務めた事有名である。その後エリック・ドルフィーとブッカー・リトルの双頭コンビに参加後、1965年に渡欧しヨーロッパ、日本を中心に演奏活動を行っていた。アルバムとしてはビルリー・作詞、マル作曲のスタンダード・ナンバー「レフト・アローン」含む「レフト・アローン」、ピアノ・ソロアルバム「オール・アローン」が有名。2002年12月2日ベルギーのブリュッセルにて77歳で死去。

■ご注意: 2024年1月から「国際交流センターレセプションルーム」になります。

- ◎開催日時: 12月2日(土) 開場: 13時15分/開演: 13時30分/閉会: 16時30分
- ◎開催会場: 生涯学習プラザ・101活動室(16名収容会場を使用) ※ソフトドリンク等の持ち込み可
- ◎参加費: ¥1,500、※高校生以下 ¥500 ※次回1月は13日(土)を予定しています。詳細はHPをご覧ください。 ※手の消毒、マスクのご持参をお願いします。 ※音友レコード倶楽部PR動画配信中 ※詳しくは「音友会」のホームページからお問い合わせください。▶ http://ontomo.jp

### 第3回元住吉ミュージック・フェスティバル (MMF)-2024のお知らせ

2024年4月6日(土)開催、MMFの出演者の応募が12月31日で締切です!!。地域貢献活動の一環の「元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF)」第3回も出演者、観客の皆さんと共により一層楽しい音楽祭を開催できる様に進捗しています。年明けには当日運営のボランティアスタッフの受付が始まります。ぜひ手作り音楽祭MMF-2024の応援、お手伝いをよろしくをお願いします。MMF実行委員会一同

### 2023年12月2日(土)「持ち寄りタイム」のプログラム

12月は「クリスマスの曲を中心に楽しもう!」のコンサートです。

2023年12月は音友レコード倶楽部恒例の「クリスマス特集」です。この日はDJプログラムではなく皆さん持参のレコード、CDを中心に想い出のクリスマスの曲などを「忘れ時の一言」と共に紹介をしながら楽しむ一日です。ジャンルにこだわらず各人の想い出の名曲をぜひ聴かせてください。



特別寄稿02

ムールドラムスの女性講師コラム  
～自由にドラム人生満喫編～

今回はお題通りお気楽な楽しい大学編で運命のドラムに出会ってからとにかく勉強はそっちのけでドラムを叩く叩くの音楽満喫日々でした。エアカンの付いていない部屋で、夏は灼熱、冬は凍えながら(笑)今なら無理。ちなみに所属していたフォークソング部には芸人のノンスマイル井上くんがいました。ドラム譜もろくに読めないし、ちゃんと習ったこともなかったのどにか見様見真似のドラミング。学園祭ではその当時流行っていたガレージロックの定番「THEE MICHELLE GUN ELEPHANT」や夏に盛り上がる「TUBE」、バンドマンに人気だった「BACK DROP BOMB」などなど、上手く叩けるかどうかやテクニックは別として、好きなものを好きになるように叩いていました。当然、基礎練習などはやったことがないので、リズムは一定ではないフィリピンもなんちゃって、タイミングも

微妙なへなちょこドラマーでしかなくとか曲として成立するレベルでした。今となってはよくあれで他の楽器と合わせられていたと(泣)聞いてくれた人達にも感謝です。バンドメンバーに申し訳なかったと今になって大反省です(汗)。大学卒業後もフリーターをしながらドラムは続け、オリジナルのバンドでツアーにも行けるほどになりました。ですがこのドラムではダメだと思い某有名教室に少しの間通いましたが、ただその時点ではドラムという楽器で生きていくなんて全く思っていないのでした。そろそろ真剣に自分の人生を考えないといけないリミットが来ていました。現在日々思うのですが、ドラムという楽器を演奏し続けるには、何か強い信念のようなものや私のように偶然が重ならないとそうはいかないと思います。ピアノやギターは触ったことがあるとしても、やはりドラムセットを叩く機会はなかなか巡っ

ムール 瑠美

てはきません。ドラムを一度でも叩いてみたいという方は躊躇せず、一回でもチャレンジしていただきたいなと心から思います。今回は最後まで読んでいただき本当にありがとうございます。次回は「海外でドラム人生奮闘編」です。



▲Only Good Summer/Tube

音友レコード倶楽部Report Report Jazz Date 2023年10月コンサート

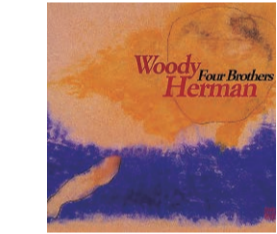
秋の名曲を聴き比べてみました

DJ担当:吉井ちづ子

10月特集はDJの好きな秋の曲を、趣の異なる2演奏で聴き比べてみました。ところで秋といえば名月を想い、月に因んだ曲を探したくなりますが、満月の曲(ハーベスト・ムーンやオールド・デビル・ムーン)はあれど、季節は不問で秋の曲ではありません。秋の名月のジャズ曲が探せないのはちょっと残念でした。どなたかご存じでしたら教えてください。

10月特集はDJの好きな秋の曲を、趣の異なる2演奏で聴き比べてみました。ところで秋といえば名月を想い、月に因んだ曲を探したくなりますが、満月の曲(ハーベスト・ムーンやオールド・デビル・ムーン)はあれど、季節は不問で秋の曲ではありません。秋の名月のジャズ曲が探せないのはちょっと残念でした。どなたかご存じでしたら教えてください。

3曲目に選んだ「オータム・イン・ニューヨーク」では、モダン・ジャズ・カルテットの哀愁を込めたミルト・ジャクソンのスローテンポのビブラフォンが美しい「Django」と、片やナポリ生まれのダニロ・メモリのピアノトリオにテナーサクスを加えたカルテットの演奏「Time on my hands」(写真②)を聴き比べてみました。



▲①Four Brothers/Woody Herman



▲②Time on my hands/Newropean Quartet



▲③Blues Walk/Lou Donaldson

音友レコード倶楽部Report 持ち寄りタイム 2023年10月 コンサート

明るい活動室で持ち寄りタイム

DJ担当:大場アキヒロ

レコード倶楽部は12月までの間、国際交流センターが改修のため使用できず代わりに生涯学習センターでの開催となり、今回はその初回でした。持ち寄りタイムはモダン・ジャズからラテン・ロック、フュージョン、ポピュラー・ヴォーカルまで幅広いジャンルの音楽を皆さんで楽しみました。まず、同じ曲を異なるバンドでの聴き比べからスタートしました。ジョン・コルトレーンの名盤として名高い「My Favorite Things (1961)」(写真①)より「マイ・フェイスリット・シングス」。この曲はミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」の劇中歌ですが、コルトレーンに取り上げられたことで、オリジナルを超えて今ではジャズのスタンダード・ナンバーとして認識され、かつてJR東海の観光キャンペーン「そうだ 京都、行こう。」のCMソングとして使用されていることでも知られています。3拍子の原曲を6/8拍子のアフロ・ビートに変え、この頃コルトレーンが傾倒していた「モード」奏法を用いた進行に仕上げた演奏はその後のコルトレーンのコンサートの定番曲となりました。対するはテナー

サクソ奏者、エリック・アレキサンダーのアルバム「My Favorite Things (2007)」。本アルバムはスイングジャーナル誌60周年記念特別企画で読者の人気投票によって選ばれた名曲ばかりを収録した日本企画盤。コルトレーンとは異なるパワフルなブロー・テナーを堪能できました。ラテン・ロックバンドとして名高いサンタナの「AMIGOS (1976)」(写真②)より有名な「Europa」(邦題:哀愁のヨーロッパ)。ジャケット・デザインは横尾忠則が担当し、カルロス・サンタナによるダイナミックな泣きのギターはあまりにも有名。本曲は日本では人気を博し、独自企画のシングル盤としてリリースされました。サンタナからもう1曲。「Abraxas (1970)」より「Oye Como Va」(邦題:僕のリズムを聴いてくれ)。サンタナが1970年に発表した通算2作目のアルバムで、初の全米1位を獲得しました。ソウル・ジャズ・シーンで活躍したジーン・ハリス「In a Special Way (1976)」(写真③)より「ラヴ・フォー・セール」。スリー・サウンズの人気ピアノリストが、アース・ウィンド・&ファイ

アーのリズムをバックにスタンダード・ナンバーであるこの曲をグルーブ感満点のソウルナンバーに仕上げました。女性ヴォーカルから3曲。ドリス・デイの1960年代のシングル曲を集めた編集盤「The 1960s Singles (2002)」(写真④)より映画の主題歌であった「センド・ミー・ノー・フラワーズ」。今年2月に亡くなったバート・バカラックとハル・デヴィッドのお馴染みのコンビによる作曲。バート・バカラックらしい親しみやすい曲でした。コニー・フランシスからも2曲。「Sings Award Winning Motion Picture Hits (1963)」(写真⑤)より「シークレット・ラヴ」と「オーバーザ・レインボー」。本盤はアカデミー賞を獲得した映画音楽を歌ったアルバムで、ポップス寄りのアレンジでしっかりと唄う佳作。その他、ジュリー・ロンドンのヴォーカル、アキコ・グレースのピアノ・トリオ、ジェフ・ローバーのフュージョン・アルバムなど今回幅広いジャンルを鑑賞してお開きとなりました。



▲①My Favorite Things /John Coltrane



▲②Amigos/Santana



▲③In a Special Way /Gene Harris



▲④The 1960s Singles /Doris Day



▲⑤Sings Award Winning Motion Picture Hits /Connie Francis

Mマガジン編集部からのお知らせ

Mマガジンの制作にあたりボランティアで制作物を担当して頂き長年にわたりお世話になりました神山昇デザイナーと表紙写真の安田芳郎カメラマンがこの12月号を持って引退すること

になりました。長い間Mマガジンを支えて頂き有り難うございました。この10年あまりの制作には感謝の言葉しか有りません。またこの9月号からは岩崎太一デザイナーにお手伝いをして頂

いていますが、これからも以前同様Mマガジンご愛読者の期待に添えるようにスタッフ一同頑張っていきますので今後ともよろしくお願いたします。編集長:塚田親一

連載09 脱線ニューヨーク滞在記  
前号からの続き

W.ブロードウェイの画廊も毎日変化してました。。ガラス瓶の中に生きた昆虫と水滴の興味深い作品もありました。画廊巡りも面白かったですが、歩きながらに出くわすハプニングそして人間が面白かったです。一つブロックに一人ぐらいの割合で変わってると言うか狂ってると言うかおかしいと言うか天然かドラッグでか判りませんがいました。朱に染まれば赤くなるか、類は類を呼ぶの例で、おかしな連中がマジョリティーの界限でした。日本からもアーティストや自由人、多くの狂人(くるいびと)がいました。アーティストでは柴田雄一郎さんをはじめ、耳の彫刻の三木富雄さん:僕が彼と会ったのは河井さん(後述)のロフトで何人かといいた時、そこに三木さんが遊びに来ました。彼は山高帽を被り「王様と私」の本を脇に持っていました。そして浮世離れた会話をしました。シュールなファンタジックな空気が流れました。河井勇さん:「詩人・瀧口修造」の「旅する人と絵と河井勇に」という詩がありますが、その河井勇です、彼は絵描きですが、旅の話が面白く僕の好奇心は沸き上がりました。僕が今は無き渋谷の「ジャンジャン」、他で何回か音楽を担当した舞踏の花柳寿々紫さんと河井さんがNYで結婚していた事を後になってから知り不思議な縁を感じました。寿々紫さんは地唄舞では「武原はん」さんから教え(薫陶)を受けてました。はんさんもジャンジャンに観に来られ、寿々紫さんに「あんたも面白くことやります」と聞こえました。ポストモダンダンスではアメリカで多くの評価を受けドキュメント映画も作られています。僕が参加した舞台も面白く、シュールさと滑稽さの背景にある狂気(典型的は評論の通り)。僕も色々面白い事が出来ました。河原温(ON-KAWARA)さん:どの様ないきさつか忘れましたが、彼のお宅に伺いました。ドアを開けると真

ん中にタイプライターが置かれ机と天井の明かりだけの部屋に温さんは椅子に掛けてました。そして彼は僕に名前を尋ねました、名前を言うとは僕の名前をタイプライターに打ちました。この模様が彼の作品でした。僕はキャンバスに日付けを描いてある作品が河井さんの作品と長く思ってたんですが、ある時何かにインターネットでグッゲンハイム美術館を検索したところ「ON KAWARA回顧展」開催中とあり紹介写真で螺旋の壁にずらりと並んでる日付けの作品を見、彼の代表的な作品と知り、同時に河原温さんがニューヨークで他界した事も知りました。篠原有司さん:キューチャンで知られ、近年彼のドキュメント映画も作られています。彼のロフトは柴田さんのロフトの近くで千客万来一泊1ドルで居られいつも賑やかでした。何回か主に関係なく行きました。ある日、その頃有名だった鉄板焼きレストランBENIHANAの社長で実業家のロッキー青木氏の肖像画が描いてありました。面白く取り合わせと思えました。その日、彼は段ボールでオートバイを制作してました。後にその作品が近代美術館に展示してありました。動きを休まず段ボールを切ったり貼ったりしてました。僕の顔をチラッと見たりもして。彼は強い近視の眼鏡を掛けている時もありましたがその時は裸眼で作業してました。僕はその裸眼が段ボールオートバイのデフォルメさ加減を作ってると思えました。何年前には日本の現代美術館でポクシングペインティングをしてた様です。日本の現代アートで活躍してた人達が挙って来てた感じで、おおよそは皆、僕よりは一代天上の人達でした。一度こんな人達6、七人が柴田さんのロフトに集まる四方山談義でマジックマッシュルームや毒キノコの話になって、虹の作家の鰐(あいう)さんがベニテングダケを食べた話

出村 克明

パーカッション奏者  
コンセプチュアルアーティスト  
現代アートでは空気、無を梱包して送る  
エアメールアートを展開している。

をしました。驚きました同時に彼の作品も思い浮かびました。次号へポヘーバ



▲三木富雄:EAR4



▲河井勇の作品(著者所蔵)



▲On Kawara: Date Paintings



▲篠原有司男:モータサイクル・ママ

連載86 「くじら座」日記  
ランドマーク

人間に感情があつて良かったと感じるのは、嬉しいと感じるだけではなく、言葉にできない想いを抱き、そしてそれを言葉にしようとする瞬間があるからだと感じる。この時代に執筆するミュージシャンは少ないし、大半の方が写真や140字のSNSを使っている中、僕が今もこうして書き綴ることには理由がある。たとえ時間が景色を変えてしまうことであっても、僕自身は、いつでもどこで再会しても変わらない良さを持ち合わせていたいからだ。これは成長を恐れる変化をしたくない、という意味ではなく、僕の音楽活動が誰かにとってのランドマークでありたいということである。久しぶりに帰ってきた故郷の景色に、昔から馴染みのある建物やお店があったら、どれほど嬉しいことか。また、久しぶりに聴いた音楽に、ふと「あの頃」を思い出すこともあるだろう。音楽には、その瞬間を切り取り、心の中に大

切しまし込むことができる力があると思ってきた。僕、そして僕の音楽は、誰かにとってのそういう存在でありたいとも思っている。これは何年も前から変わらない想いだ。最近ほとんど対外的なライブ活動をしていないけれど、これは決して「多忙だから」という理由ではない。30歳を迎えた頃から、僕の中にはある想いが湧き出した。あれだけいろいろなステージを経験させてもらったにもかかわらず、僕は、期待に見合った活躍をし続けることができていなかった。僕の音楽を好んでくれて、そして期待してくれる人が少なからずいると十分に感じるようになっていた中で、僕は現状の自分では、さらに上に行くための力が足りないと感じていた。その場その場が軽く楽しいライブではなく、全国区、世界にしっかりセールスできる曲を作りたいと、夢物語ではなく現実として考えるようになった。たしかに

シンガーソングライター  
牧野 憲人

音楽は気持ちが一番大切だけれど、その気持ちを込めるためにはやはり技術が必要であり、圧倒的な知識が必要だ。そこで僕は、2年前から音楽の学び直しを始めることにした。今の期間は、僕にとり一番大切な期間であることを伝えておきたい。そして、僕の掲げるランドマークが、誰かにとっての心の拠り所になれるよう、僕はこの目立たない「学び直し」という活動に今を懸けたいと思っている。

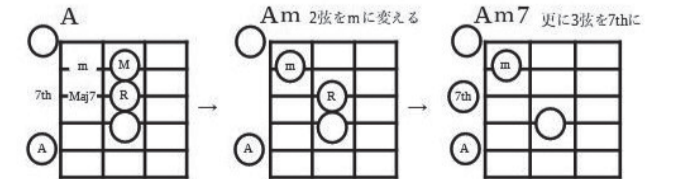


連載67 Course: Addicted to Guitar  
CAGED(ケイジド)システム A型

ブルースロックピン芸人  
永瀬 晋

いつもお世話になっております。今月もギター始めたばかりの方への攻略コラムをお送りしていきたいと思っております。今回は前回に続き「自力でコードを作る」第2弾の「CAGED A型」を進めていきましょう。では早速図を確認していきましょう。考え方としては前回使用しましたE型と全く同じ考え方で、前回同様で重要なものの1つ目はMaj(メジャー)、Min(マイナー)の位置。2つ目はRoot、Maj7th、7thの位置です。そしてこの型を覚えてからは、あとはそっくりそのままですること

で、#b含めたすべてのKeyでコードを作ることができます。これも前回同様の考え方ですね。今回のA型と前回使用しましたE型の2つがあれば、基本的なコードは網羅できると思っていますので(テンションコード以外)



是非普段練習している曲などにはめ込んでお試くださいませ!これでCAGEDの2つ目確認いただけました。まだあと3つ残っておりますので今後も紹介していけたらと思います!というわけでまた次回!

ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School  
http://souleave-music.com/  
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分  
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992  
レッスンは8:00~22:00開始迄、詳細は要連絡

MOTTON CLUB  
全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押しが目的です。元住吉から世界に向けて配信しています。登録アーティスト募集中!! 演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフも募集中)

